



## 能管 玉野 宮夫 たまのみやお

能楽藤田流笛方、故 笈三男に師事。観世流名誉師範。「能楽・拍楽座」代表。平成15年中国杭州大家芸術大学にて能のワークショップ、平成16年ネパール王立美術館にて能を上演。平成18年パリ第2区市役所では、からくり「三番叟」を上演して脚光を浴びる。地元犬山では毎年3月に大縣神社梅華能開催。近年、平家物語を題材とした薩摩琵琶とのコラボレーションに取り組み、「壇ノ浦・耳なし芳一」などの古典物に能管を取り入れ、新たな芸風を確立した。

## 薩摩五弦琵琶 細川 華鶴子 ほそかわかづこ

平成4年より薩摩琵琶錦心流を学んだ後、平成6年より薩摩五弦琵琶の坂田美子に師事。平成17年日本音楽集団に入団。平成24年退団。平成27年ANET(愛知芸術文化協会)入会。ヨーロッパ、アジア公演のほか、国内各地で劇中演奏、朗読とのコラボ等、古典を中心に現代曲を問わず幅広く活動、近年、「グループ☆ななほ」を結成し、活躍中。



### 道成寺(どうじょうじ)

桜満開の紀州道成寺を舞台とした安珍・清姫伝説のお話。清姫の化身だった大蛇に鐘を焼かれ、女人禁制となっていた道成寺に、ようやく鐘が奉納されることとなった、その供養の日、花子という美しい白拍子がやってきた。「鐘の供養があると聞いたので拝ませてほしい」と言う。修行中の若い僧は白拍子の美しさに、舞を舞うことを条件として烏帽子を渡し入山を許してしまう。

花子は舞いながら次第に鐘に近づく。修行中の若い僧達は花子が実は清姫の化身だったことに気づくが時遅く、とうとう清姫は鐘の中に飛び込む。と、鐘の上に大蛇が現れ、、、。

## 名古屋わざもん衆 [www://wazamon.jp.net](http://www.wazamon.jp.net)

尾張藩の城下町ではじまり、高い技術と生産力で現在まで脈々と受け継がれてきた名古屋の伝統産業に従事する職人たちが、従来の既成の概念を飛び越え、お互いに協力しあいながら、これからの伝統産業を盛り上げていこうと、熱い思いを持って集結したのが「名古屋わざもん衆」です。

名古屋伝統産業の工芸品を日常の生活に採り入れて、上質な生活(ライフスタイル)を楽しんでみてはいかがでしょうか。

つくり手の匠たちが直に伝統工芸品の良さをお伝えします。



#### 参加店舗

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 名古屋友禅 赤塚染工場<br>名古屋市北区大蔵町6番地<br>TEL (052) 981-0997 | 名古屋提灯 伏谷商店<br>名古屋市瑞穂区豆田町3-5<br>TEL (052) 881-9237 | 名古屋扇子 末廣堂<br>名古屋市西区菊井1丁目1-8<br>TEL (052) 562-0135 | 名古屋仏壇 後藤太郎仏壇店<br>名古屋市中区桶1丁目16-18<br>TEL (052) 321-3366 |
|---|---|---|--|

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

## 宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは  
会員登録していただいた方に毎月無料で  
新作チラシをご自宅にお届けします。

## 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

#### 宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業